

特集

長年の地域防災への貢献に最高の榮譽
鏡石町消防団「特別表彰まとい」受賞



鏡石町消防団が第76回日本消防協会定例表彰で「特別表彰まとい」を受賞しました。「特別表彰まとい」とは、公益財団法人日本消防協会が毎年全国各地2200余りの消防団の中から厳しい条件をクリアした10の消防団にのみ贈られる、消防団にとって最高榮譽賞となります。

前を、まといを掲げた消防車両が練り歩きました。その後行われた受賞祝賀会で木賊町長は、「昭和37年に鏡石町消防団が発足してから、団の諸先輩たちが積み重ねてきた功績が評価されての受賞に町としてもお祝いしたい。今回の受賞を機に消防団がますます活躍できるように、町も一緒に取り組んでいきたい。」と称えました。

3月8日(金)に東京都港区のニッショーホールで行われた表彰式に、添田孝利団長と本部員5名が参加し、日本消防協会の秋本敏文会長から、金色に輝くまといと賞状を受領しました。団では、町民の皆さんへ受賞報告のため、3月23日(土)に本町通りで、報告会と披露パレードを実施しました。パレードでは通りに整列した団員と観覧に訪れた多くの町民の



▲ これまでの功績を称える賞状

▲ 最高榮譽受賞の証「まとい」

鏡 石町消防団の歩み

昭和23年7月自治体発足とともに、団員200名、ポンプ車1台、手引きポンプ4台でもって、鏡石村消防団は組織されました。

さらに昭和37年8月1日に町制施行するに至り鏡石町消防団となりました。このときの勢力は、8個分団、団員200名、ポンプ車1台、小型ポンプ車9台でした。現在は、9個分団、団員154名、ポンプ車5台、小型ポンプ9台、積載車8台です。



沿革

- 昭和 23年 鏡石村消防団発足
- 昭和 34年 第2分団小型ポンプの部福島県大会優勝
- 昭和 37年 鏡石町消防団発足
- 昭和 37年 第6分団小型ポンプの部福島県大会優勝
- 昭和 38年 第5分団小型ポンプの部福島県大会優勝
- 昭和 39年 第2分団小型ポンプの部福島県大会優勝
- 昭和 43年 日本消防協会表彰旗受賞
- 昭和 45年 第5分団全国消防操法大会出場
- 昭和 55年 第7分団小型ポンプの部福島県大会優勝
- 昭和 59年 第8分団小型ポンプの部福島県大会優勝
- 平成 30年 消防庁長官表彰旗受賞
- 令和 6年 「特別表彰まとい」受賞

-MESSAGE-

この栄えある受賞は、本町消防団が昭和37年に発足して、今年で62年目を迎える中で、消防団を長年支えてこられた先輩方や団員達の功績が認められたものと、消防団としてこの上ない喜びであり、大変うれしく思います。

本受賞は、消防団員のみならず、消防関係者や団員の家族、地域の皆様方のご理解とご協力のおかげであり深く感謝申し上げます。

また、今回の受賞に際し、町において受賞記念祝賀会を催していただき、多くの皆様から激励のお言葉を賜りました。今回の受賞に慢心することなく、地域防災の要としての役割を果たすべく、消防活動により一層尽力してまいります。



鏡石町消防団長 添田 孝利 さん

最高榮譽である「特別表彰まとい」を日本消防協会より授与されましたこと、誠に喜ばしい限りであります。その栄光の歴史と数々の功績は枚挙にいとまがありません。

町といたしましても、心から敬意と祝意を表するとともに、御同慶の至り、この上ない榮譽であります。



鏡石町長 木賊 正男

日本消防協会消防団「特別表彰まとい」受賞要件

- ①日本消防協会表彰旗を授与されてから10年以上の期間にわたって抜群の成績を維持し、他の模範となると認められる消防団であること。
- ②消防庁長官表彰旗を受賞していること。
- ③全国消防操法大会に出場歴のあること。